

【1.はじめに】公共交通の利用状況と人流に関する近況の整理

■ 利用状況等のまとめ（コロナ禍前との比較）

✓ バス・タクシー・電車の利用者数

- ・令和5年3月に「マスクの着用が個人の判断」となってから微増傾向の状況が続いており、
コロナ禍前と比較して約8～9割（約1～2割減）で推移

✓ 川崎駅・横浜駅の人出

- ・コロナ禍前と比較して、午前8時の人出（通勤・通学が多い時間帯）は9割以上に回復、
午後3時の人出（私事が多い時間帯）はコロナ禍以前を上回っている

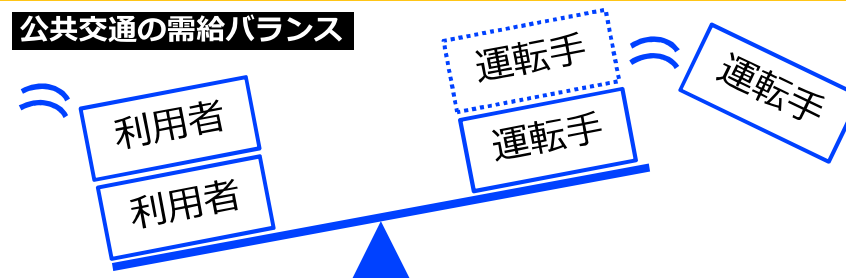
■ 公共交通をとりまく環境の変化

- ✓ ドライバー不足が深刻化しており、第2種自動車免許保有者は年間約5.5万人減少
- ✓ バス運転手は、このままの状況では令和12年に約3.6万人不足
- ✓ 運転手不足を要因とした路線の廃止や減便が進んでいる

■ 公共交通に関する考察

- ✓ 人出の回復により、公共交通の需要は高まってきているが、運転手不足により、今後、供給が追いつかなくなることが想定される

公共交通の需給バランス



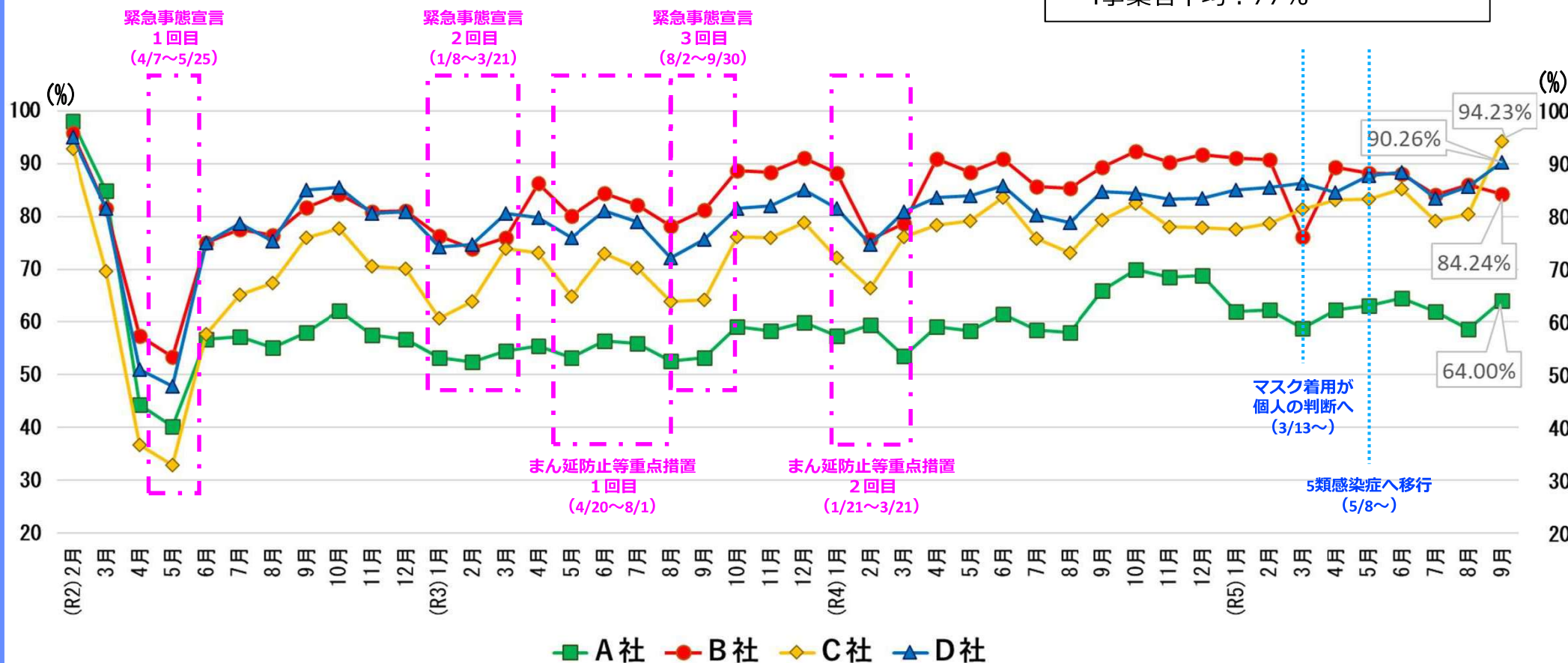
■市内バス利用者数の推移

- ✓ 新型コロナウイルスが感染症法上、5 類へ移行したこともあり、利用者数は微増傾向
- ✓ 令和 5 年 9 月時点では、令和元年同月比で約 9 割まで回復（※）

※A社除く

事業者別市内バス利用者数（令和元年同月比）の推移（事業者からの報告による速報値）

※令和元年9月と令和5年9月の比較
4事業者平均：77%

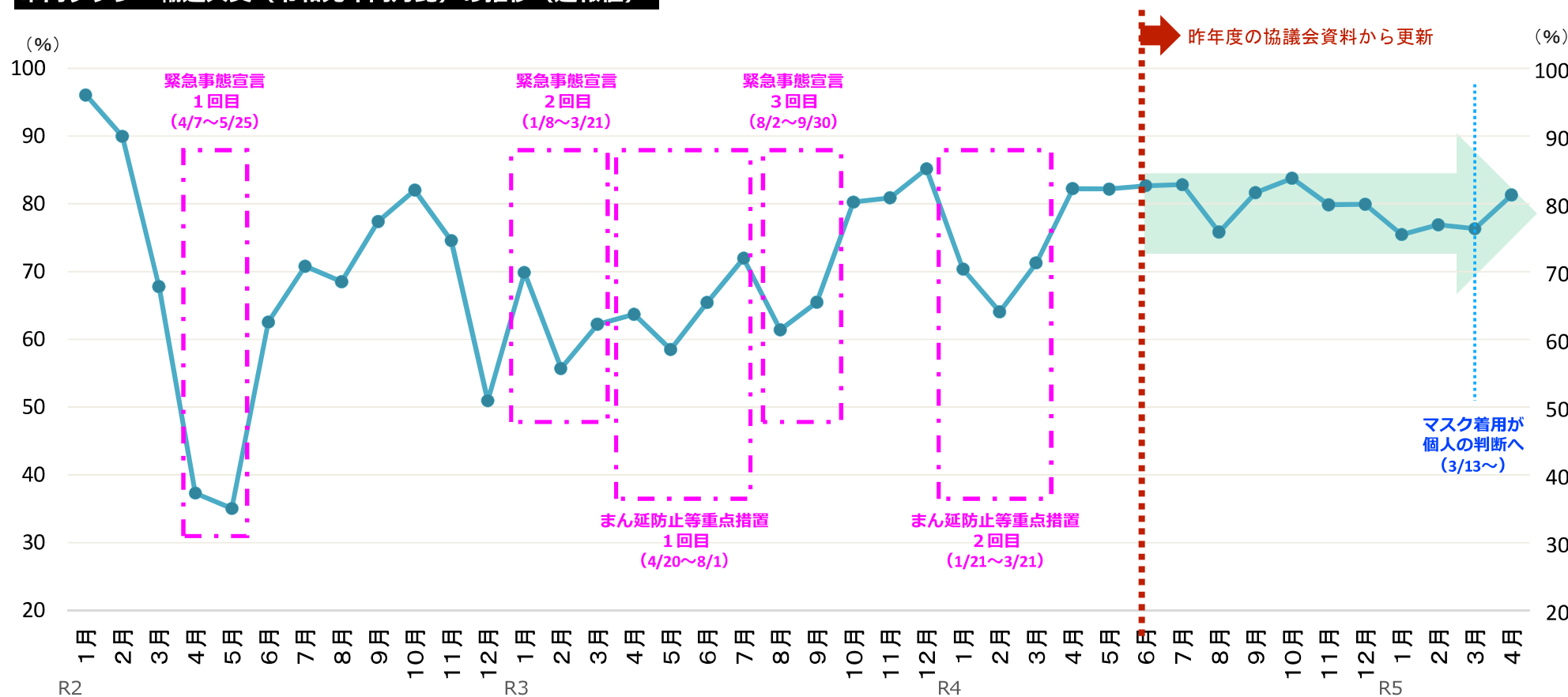


【1.はじめに】 公共交通の利用状況（新型コロナウイルス感染拡大による影響） 2/4

■ 市内タクシー利用者数の推移

- ✓ 昨年度の協議会で報告した時期から、ほぼ横ばいの状況が続いており、コロナ禍前と比較して**約2割減で推移**
- ✓ 令和5年3月に「マスクの着用が個人の判断」とされ、**4月には利用率が上昇**していることから、新型コロナウイルスが感染症法上、5類へ移行した**5月以降の利用率についても注視が必要**
- ✓ 令和5年4月時点では、**令和元年同月比で約8割まで回復**

市内タクシー輸送人員（令和元年同月比）の推移（速報値）



【1.はじめに】 公共交通の利用状況（新型コロナウイルス感染拡大による影響） 3/4

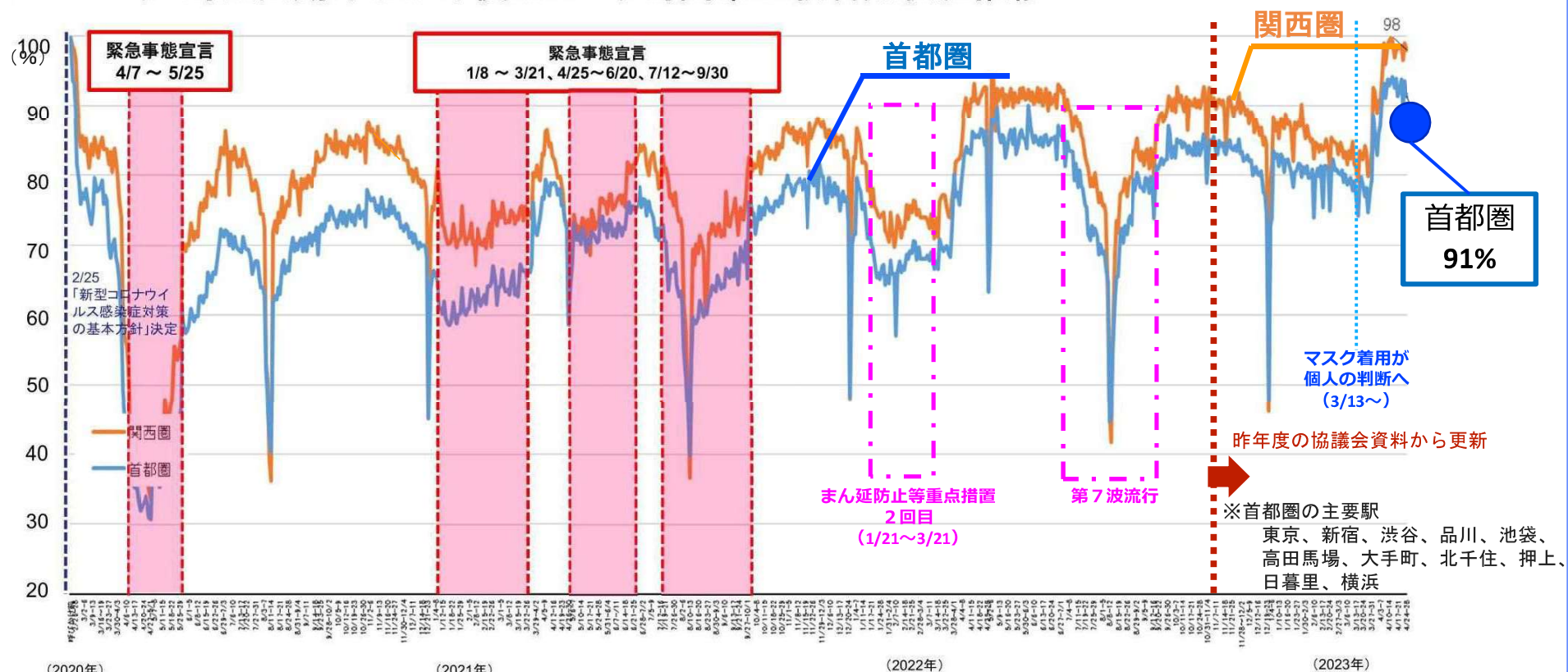
■ 鉄道利用者数（首都圏）の推移（昨年度の協議会資料で示した令和4年11月以降の状況）

- ✓ 令和5年3月に「マスクの着用が個人の判断」とされてから、利用率が大きく上昇
- ✓ 首都圏の主要駅利用者数（青線）は、
新型コロナウイルス感染拡大前（令和2年2月の特定日）との比で、**約9割まで回復**（令和5年4月時点）

駅の利用状況（首都圏・関西圏:速報値）



テレワーク・時差出勤呼びかけ後のピーク時間帯の駅利用状況推移



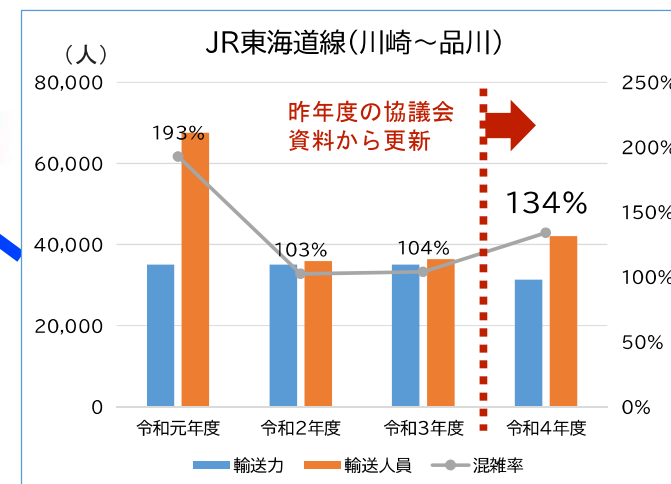
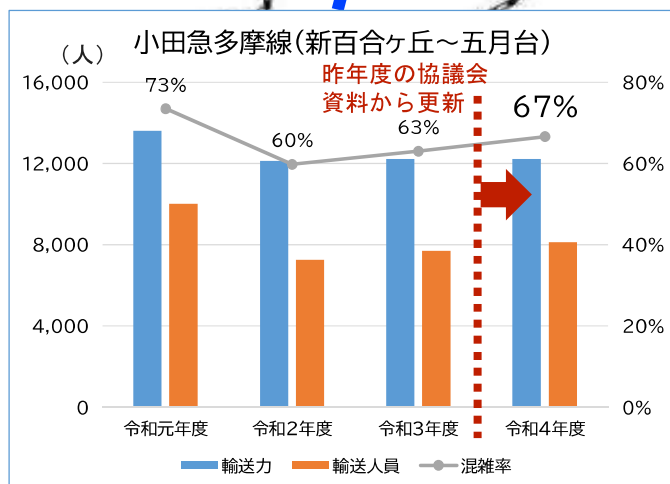
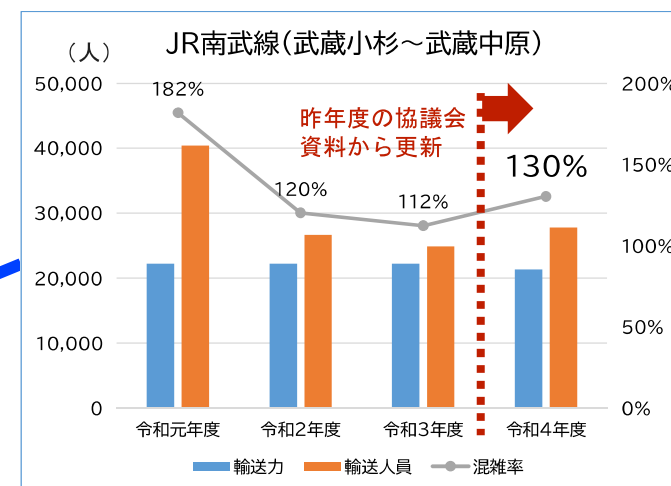
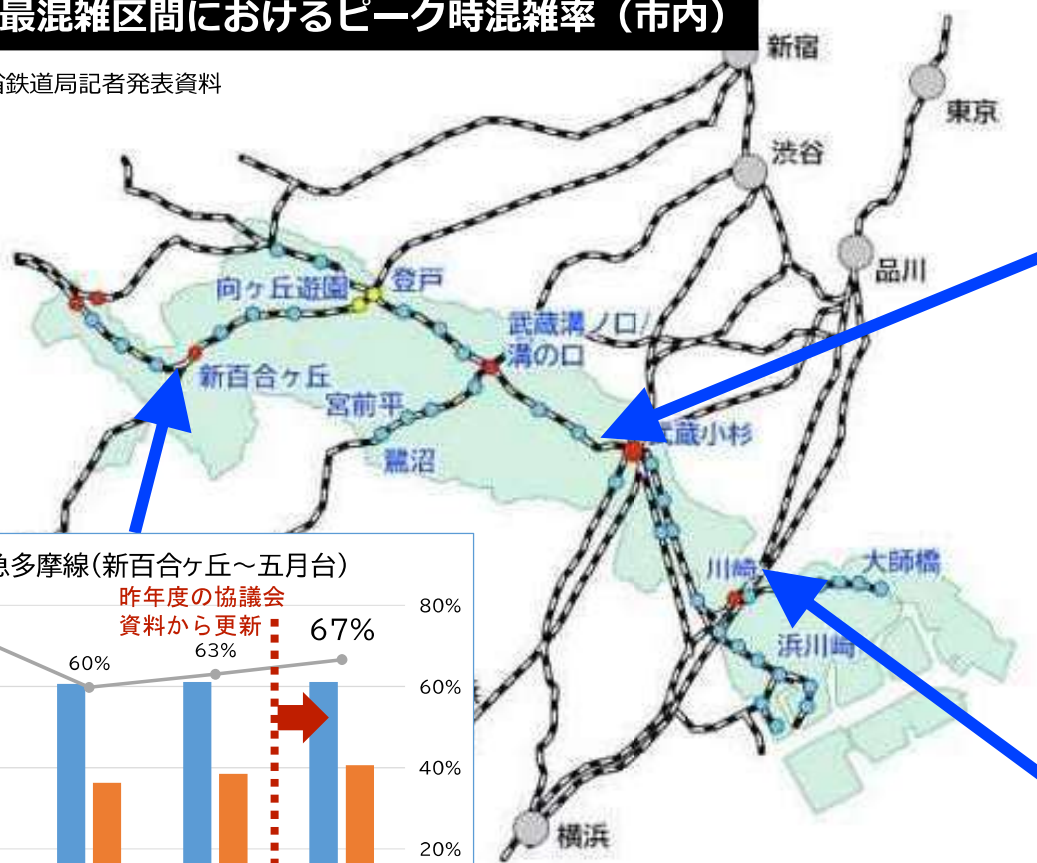
【1.はじめに】 公共交通の利用状況（新型コロナウイルス感染拡大による影響） 4/4

■ 市内鉄道のピーク時混雑率の推移

- ✓ 市内を運行する各鉄道路線の最混雑区間におけるピーク時混雑率は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が生じ始めた令和2年度に大きく減少したが、令和4年度は微増傾向の状況

鉄道路線の最混雑区間におけるピーク時混雑率（市内）

（出典）国土交通省鉄道局記者発表資料

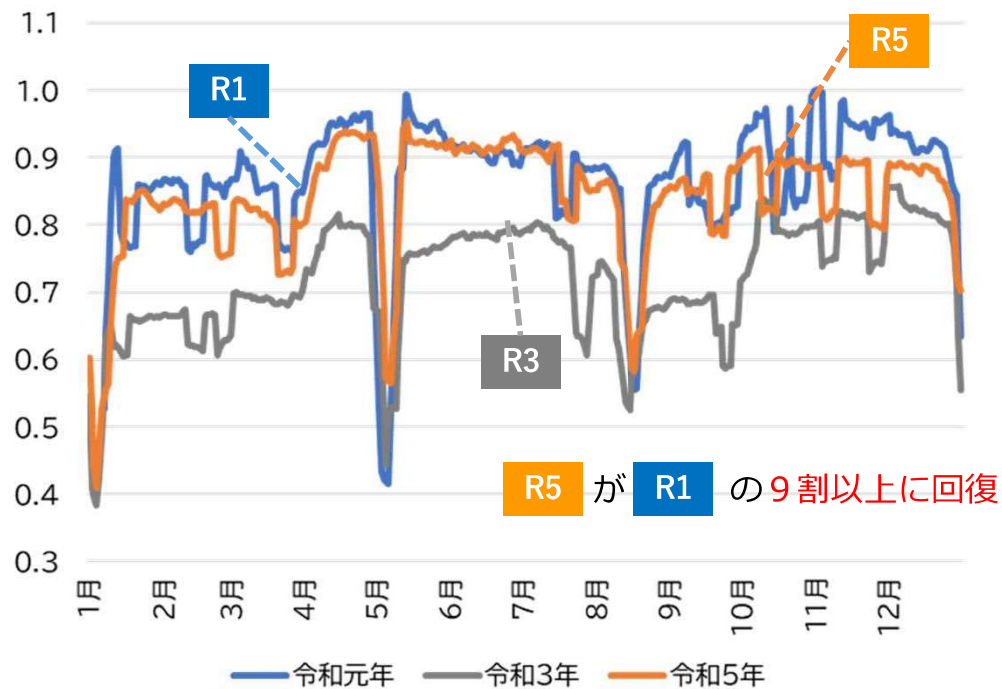


【1.はじめに】 人流の状況（新型コロナウイルス感染拡大による影響）

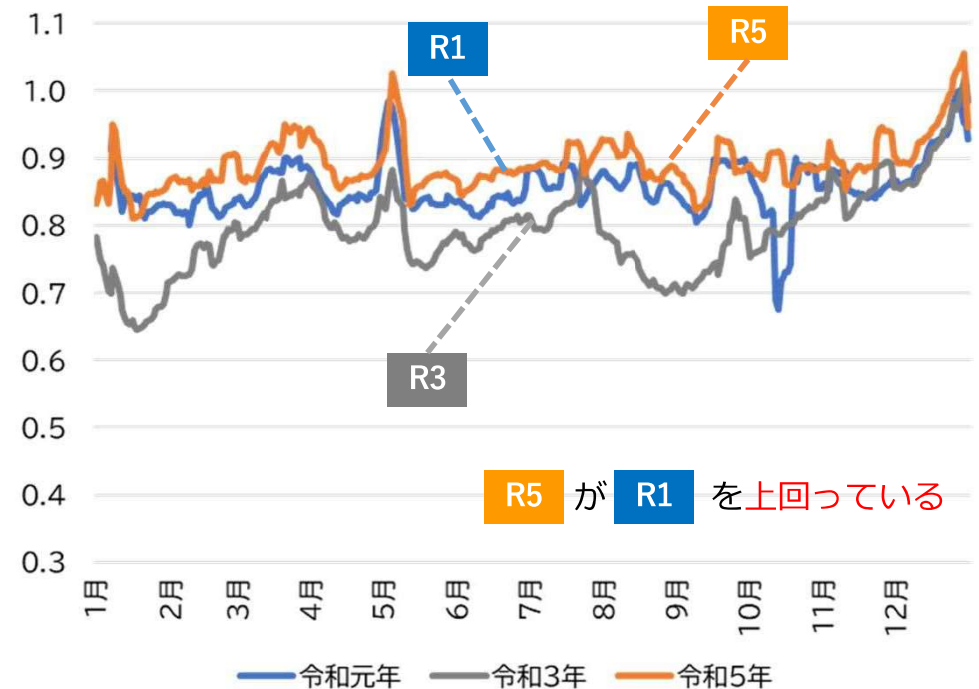
■神奈川県的主要地点（川崎駅・横浜駅）の人出

- ✓ 午前8時の人出（通勤・通学が多い時間帯）については、
新型コロナウイルスの感染拡大前（令和元年）と比較し、**令和5年は9割以上まで回復している**
- ✓ 午後3時の人出（私事が多い時間帯）については、
令和5年は新型コロナウイルスの感染拡大前（令和元年）を上回っている

＜人出の比較＞
午前8時（通勤・通学が多い時間帯）



＜人出の比較＞
午後3時（私事が多い時間帯）



※令和元年（新型コロナウイルスの感染拡大前）において、最も人出が多かった日の人出を1とした場合の比率を表示

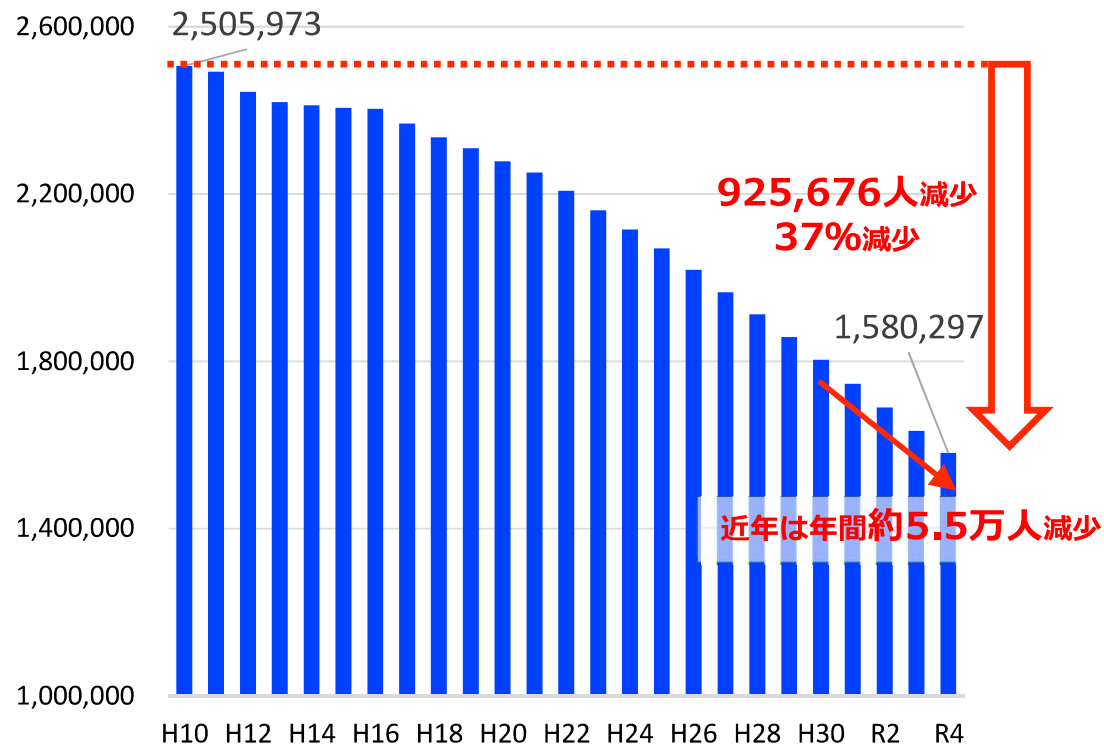
※人出のデータは、内閣官房HPで公開されているNTTドコモのモバイル空間統計を使用

【1.はじめに】 ドライバー不足の状況 1 / 2

■ 人手不足の深刻化

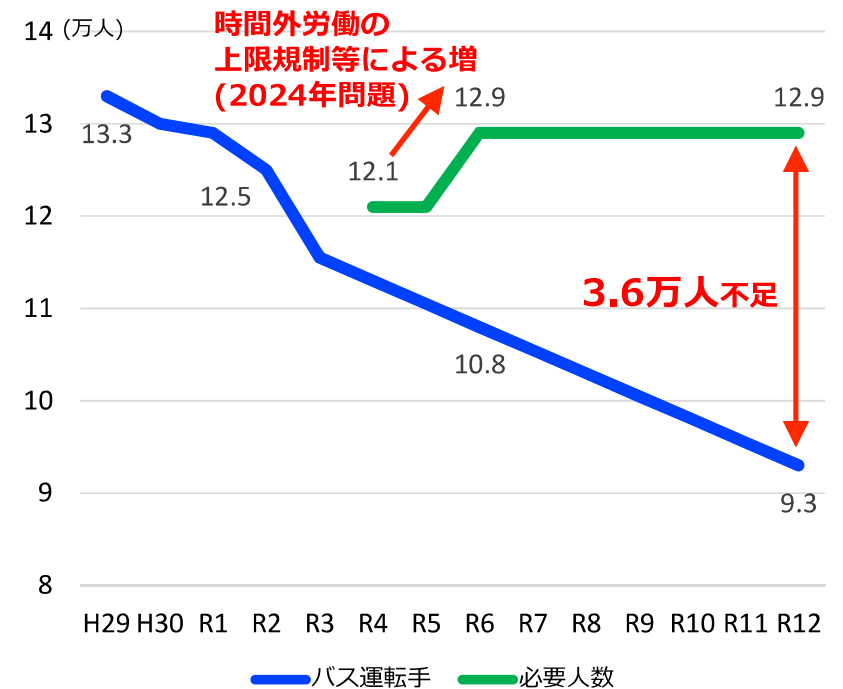
- ✓ バスやタクシーを運転できる第2種自動車免許保有者が急速に減少しており、近年は年間約5.5万人減少
- ✓ バス運転手は既に不足しているが、いわゆる「2024年問題」により、時間外労働の上限規制や休憩時間の改正が行われるため、このままでは令和12年に全国で約3.6万人不足と言われていた

第2種運転免許保有者数の推移



出典) 警察庁「運転免許統計」より作成

バス運転手の実数と必要数



出典) 日本バス協会の調査より作成 (R4以降は推計)

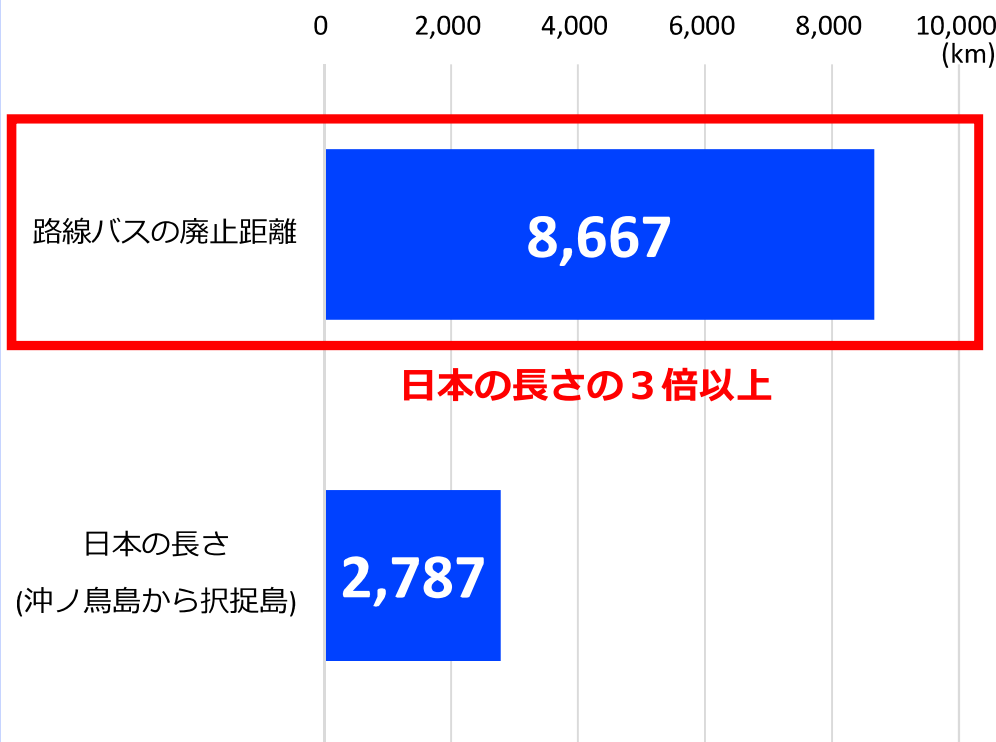
【1.はじめに】 ドライバー不足の状況 2 / 2

■ 全国の路線バスの状況

- ✓ 令和4年4月から令和5年8月までの1年5ヶ月で全国で **8,667 kmの路線が廃止** されている（※）
- ✓ 廃止の要因としては、**利用者の減少（66%）**、**運転手不足（41%）** とされている（※）
- ✓ また、**令和5～6年に「減便・廃止」を実施（予定・検討中含む）** している事業者は **約8割** にのぼる

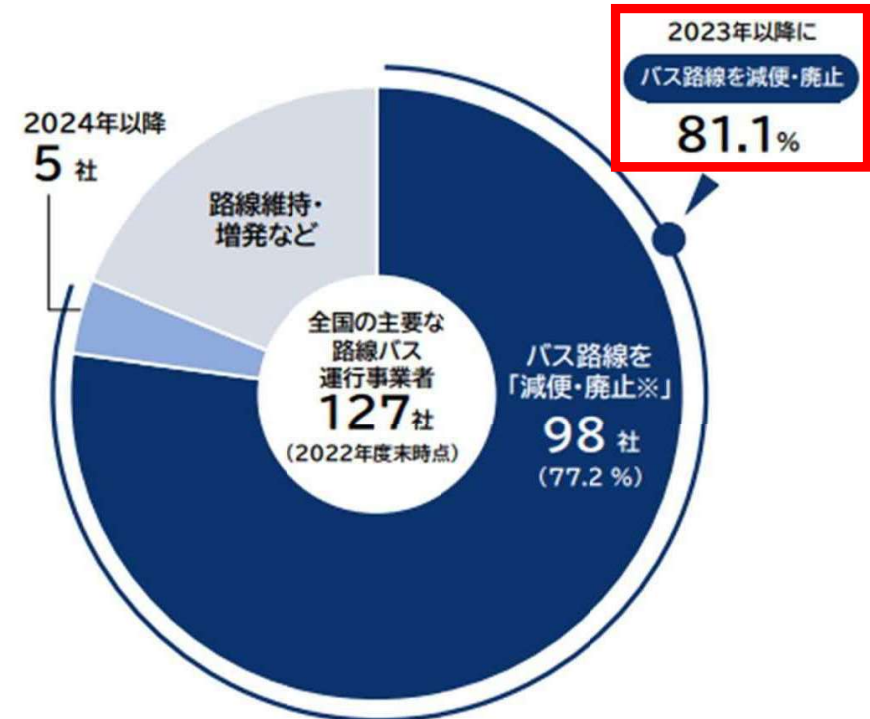
※NHK調べ

路線バスの廃止距離のスケール



出典) 路線バスの廃止距離はNHK調べ、その他は川崎市調べ

路線バス運行事業者の「減便・廃止」動向



【対象】 保有する路線数が30以上の路線バス運行事業者。公営バスは除く
【注】 タイヤ改正等で路線や運行系統について減便(減回)や廃止が明らかになった運行事業者

出典) 帝国データバンク (全国「主要路線バス」運行状況調査)

目標 1－施策（1）

効率的・効果的なネットワーク形成に資する新規路線・路線の見直し

事業

① 基盤整備や開発事業を踏まえた効率的・効果的な路線の新設・見直し

【事業趣旨】 ・基盤整備の動向等を的確に捉え、市民サービスの維持向上に向け、効率的・効果的なバスネットワークの形成に資する路線新設及び見直しを図る

【 1 】 臨海部エリアの路線の新設・見直し

計画 P88

●産業道路における自動運転バスの実証実験（臨港バス）

○概要

- ・産業道路において大型バスを使用した自動運転バスの実証実験運行（LV2）を令和5年10月に実施。
- ・遠隔監視室の見学、説明等を実施

○運行区間

- ・臨港バス塩浜営業所～産業道路～大師橋駅の往復(約6km)約45分



【3.計画に基づく各事業の取組状況】 取組事例の紹介 2/8

目標1－施策（2）

路線バスの利用実態等を踏まえた路線の効率化

事業

② 重複路線の見直し

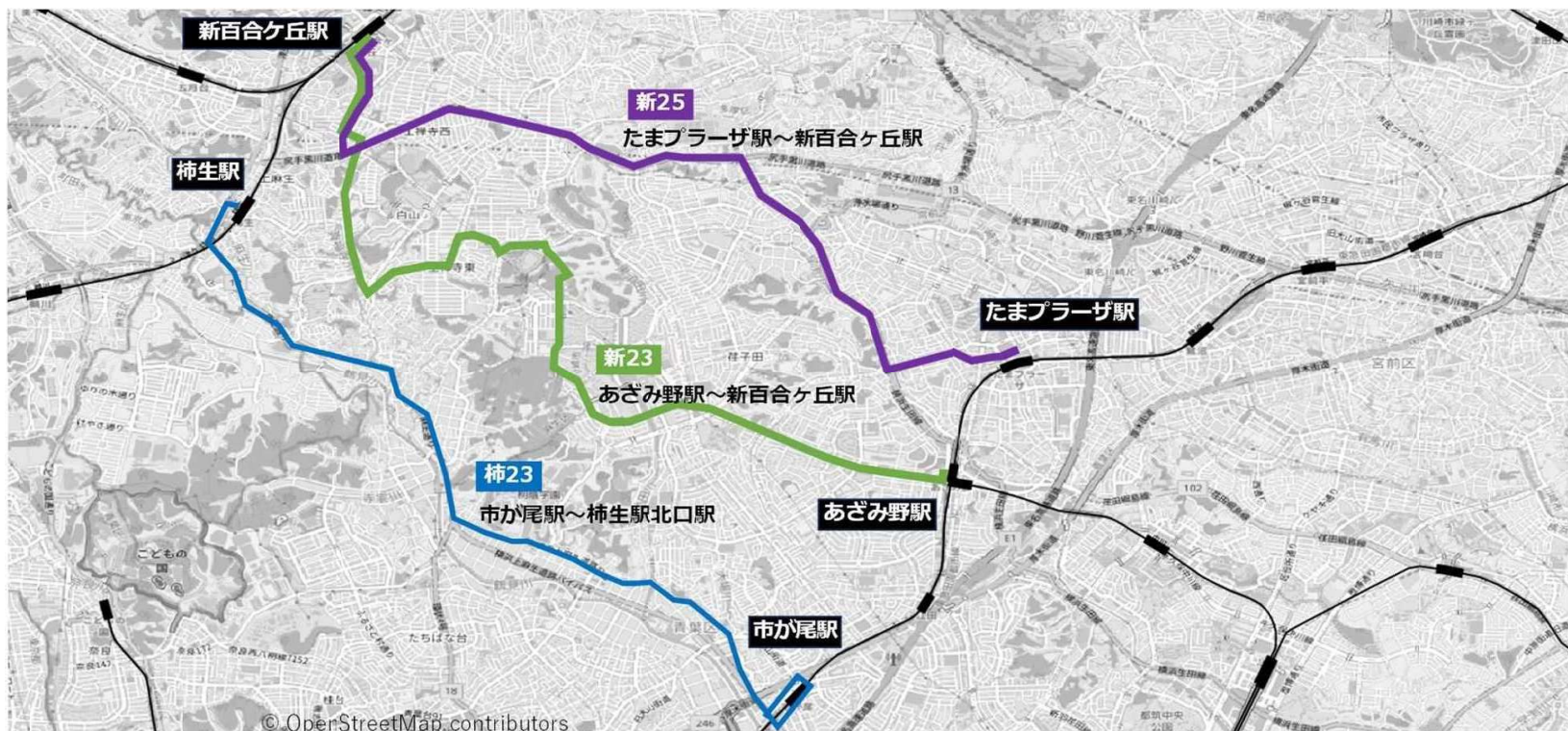
【事業趣旨】 ・ 重複路線において運行調整による効果的な運行の実現、輸送資源の確保を推進

【 8 】 重複路線の見直し

● 共同運行（新23・新25・柿23系統）の解消（小田急バス・東急バス）

・ 令和5年9月1日より、東急バスによる運行を終了し、小田急バスによる単独運行に再編

計画 P93



【3.計画に基づく各事業の取組状況】 取組事例の紹介 3/8

目標2－施策（3）

I C T等を活用した地域公共交通の利用促進

事業

① 停留所における情報提供の充実

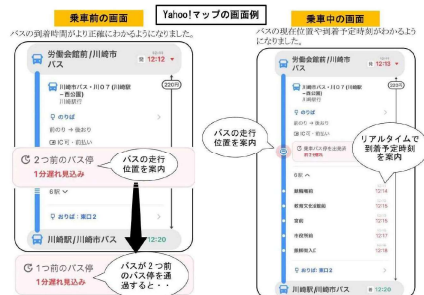
【事業趣旨】 ・ I C Tを積極的に活用しながら効果的な広報を進めていくとともに、利用者層に応じて、多様な資源・媒体を活用しながら、地域公共交通の利用促進に向けた取組を推進する

計画 P99

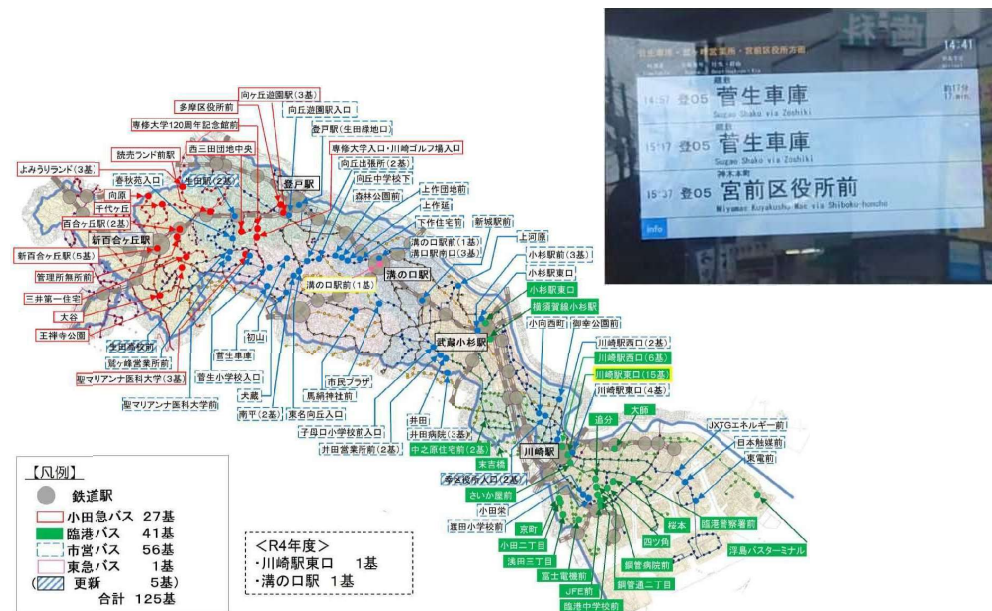
【12】バスロケ等の設置推進

●市内路線バス4社のリアルタイム運行情報が、 iOS版/Android版アプリ「Yahoo!乗換案内」、 「Yahoo!マップ」で掲載

- ・ 11月13日よりサポート実施
- ・ 市内全系統の9割超がリアルタイム運行情報に対応
- ・ 乗車するバス停の「2つ前のバス停」、「1つ前のバス停」の通過を案内
- ・ 乗車後の現在のバスの位置、バス停の通過予定時刻、到着予定時刻を案内
- ・ 停留所名がわからなくても地図画面から検索が可能
- ・ そのほか、周辺の店舗等の施設情報、雨雲レーダーなどをアプリ内で案内し移動をサポート



●市内路線バスの各バス停へのバスロケーションシステム（表示機）設置



バスロケーションシステム（表示機）の設置状況（R5.3月）

【3.計画に基づく各事業の取組状況】 取組事例の紹介 4/8

目標2－施策（3）

I C T等を活用した地域公共交通の利用促進

事業

③ 多様な資源・媒体を活用した利用促進

【事業趣旨】 ・ I C Tを積極的に活用しながら効果的な広報を進めていくとともに、利用者層に応じて、多様な資源・媒体を活用しながら、地域公共交通の利用促進に向けた取組を推進する

計画 P101

【14】 広告やイベント等を活用した利用促進

● ブラザー販売との協定に基づく公共交通利用促進に向けた取組

木材利用の意義や木の良さ・効果を体感していただくため、木製品のワークショップや木のおもちゃの遊び場など、体で木の優しさを感じる体験・参加型イベントにおいて、バスのペーパークラフトワークショップを開催

- ・ 名称：優しい木のひろば
- ・ 開催日：令和5年11月19日（日）＜参加人数：約250人＞

【利用者の声】「このスポーツチームの大ファンでラッピングバスに乗りに出かけたくらいなんですよ！」「どこに行くにもバスを利用して、子どもも小さいときからバスが大好きなんです」



「優しい木のひろば」の様子（ラゾーナ川崎）

● 空間V R映像による、外出が困難な子どもたちにお出かけ体験会

入院や通院中の子どもたちを対象に複数台のプロジェクターやモニターを用いて、バスや鉄道の運転席にいるような体験を提供。その場所に行ってみたい気持ちや治療へのモチベーションを高め、**外出が難しい子どもたちの「生きがい」を支えるなど、他分野との共創による公共交通の新たな可能性を模索**

- ・ 総合川崎臨港病院：令和5年12月5日（火）～12月9日（土）の5日間
- ・ 市立川崎病院：令和5年12月5日（火）～12月6日（水）の2日間

【協力団体】川崎鶴見臨港バス(株)、小田急電鉄(株)、東日本旅客鉄道(株)、総合川崎臨港病院、川崎市立川崎病院、フォレストデジタル(株)、認定NPO法人キッズアートプロジェクト、(一社)大師ONE博



映像によるお出かけ体験の様子（市立川崎病院）

【3.計画に基づく各事業の取組状況】 取組事例の紹介 5/8

目標3－施策（3）

ひとや環境にやさしい交通環境の整備

事業

③ ひとや環境に配慮した車両の導入

【事業趣旨】 ・地域特性に応じた多様な主体との連携により地域公共交通ネットワークを形成し、持続可能な地域交通環境の向上を目指して施策、事業を推進

計画 P107

・ひとや環境にやさしい交通環境の整備の一環として、環境配慮型車両の活用等による取組を推進

【 2 1 】 UDタクシーの普及や環境配慮型車両の導入

● 生田緑地周辺においてグリーンスローモビリティの試験運行

○ 運行概要

運行期間：R5.11月2日（木）～12日（日）

※11月12日（日）は登戸区画整理区域内のイベント「ミライノバ ハレの日」と連携し、イベント会場と生田緑地中央広場とを往復運行

運行形態：定時定路線

運行時間帯：9時30分～16時30分頃まで

ルート：向ヶ丘遊園駅～生田緑地内各スポット

運賃：無料（今回限り）

乗車定員：8名（運転手等を除く）

総乗車人数：約600人（10日間のべ人数）

最大利用人数：約80人（11月5日（日））

【利用者の声】

「全国都市緑化かわさきフェアでの運行してほしい」



グリーンスローモビリティ
（生田緑地）



走行ルート

【3.計画に基づく各事業の取組状況】 取組事例の紹介 6/8

目標4－施策（1）

多様な主体との連携によるコミュニティ交通導入の促進

事業

② 様々な運行手法の検討

【事業趣旨】

- ・起伏が多い地形や狭い道路により大きな車両の通行が困難な地域について交通事業者による運行が難しい場合には、コミュニティ交通の導入に向けた地域主体の取組を推進
- ・乗合型については、停留所を設置して路線を定めて運行する手法やICTを活用して需要に応じて予約を受けて運行する手法などがあることから、地域特性に応じた手法を活用し、地域公共交通の環境向上を図る
- ・コミュニティ交通については、乗合型やボランティア運送、施設送迎など、様々な運行形態を地域特性に応じて選択し、導入に向けた検討を進める

計画 P111

【25】様々な運行手法の活用

●民間事業者によるICT等の新技術を活用したオンデマンド交通実証実験の実施

○事業概要

運行主体：双日株式会社

名称：チョイソコかわさき

運行形態：エリア運行

運行期間：R5.5月15日から再開

運行日：月、水、金、土、日曜日

運行時間帯：8時30分～17時まで

運賃：400円/回

乗車定員：8名

予約方法：会員登録制
(専用アプリ)

主な停留所：中原区役所
井田病院 等

利用者数：15～21人/日
(R4.11～R5.2)



○事業概要

運行主体：共創コンソーシアム

(代表幹事：川崎鶴見臨港バス)

名称：のーとKAWASAKI

運行形態：エリア運行

運行期間：R5.10月2日

～12月15日

運行日：平日及び土曜日

運行時間帯：8時～18時30分まで

運賃：無料(今回限り)

乗車定員：8名

予約方法：会員登録制
(専用アプリまたはLINE)

主な停留所：川崎区役所大師支所
・田島支所、スーパー 等



【3.計画に基づく各事業の取組状況】 取組事例の紹介 7/8

目標4－施策（1）

多様な主体との連携によるコミュニティ交通導入の促進

事業

② 様々な運行手法の検討

【25】 様々な運行手法の活用

●地域主体の取組による試験運行の実施

計画 P111

令和4年度 無料の試験運行実施



○事業概要（令和5年度）

運行主体：平・五所塚コミュニティ
交通地域協議会

運行形態：定時定路線（乗合い型）

運行期間：R5.10月16日～R6.2月
（※運行中）

運行日：月、金曜日

運行時間：9時～17時まで

運賃：200円

1日乗り放題券 500円

1ヵ月定期券 2,000円

回数券(11枚) 2,000円

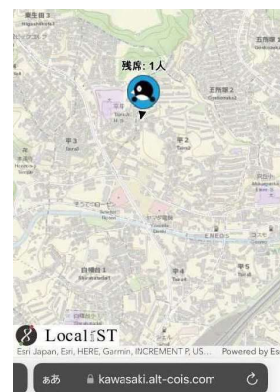
乗車定員：6名

運行協力：東栄タクシー

愛称：つばめ号



運行ルート



つばめ号の運行状況マップ



つばめ号

●地域の企業や住民、多様な主体と連携

した取組の推進

「つばめ号」に御乗車頂いた方
限定



お買い物した商品をご自宅までお届けします。

- つばめ号が運行している月曜日と金曜日の限定サービスです。
- お買い物が終わりましたらサービスカウンターにて、宅配サービスの申し込みとつばめ号の定期券または回数券を提示ください。
- つばめ号を御乗車頂いた方は、特別に無料で「らくらくクマさん宅配便」サービスを御提供します。

【受付時間9時～14時、配達時間15時～18時】

※宅配サービスは1日に限りがあります。ご了承ください。
※御不明点等はマルエツ平二丁目のサービスカウンターまで

「マルエツ」平二丁目店は、地域の足となる「つばめ号」を応援しています！

【3.計画に基づく各事業の取組状況】 取組事例の紹介 8/8

目標4－施策（1）

多様な主体との連携によるコミュニティ交通導入の促進

事業

② 様々な運行手法の検討

【25】様々な運行手法の活用

●地域の企業や住民、多様な主体との連携した取組の推進

計画 P111

共助：交通は地域で育てて支える



高校生によるマスコットデザイン



ヨガ×脳波測定 イベント



山ゆり号地域イベント



健康促進イベント

